

第1回

文字と式

学習日：月 日

学習時間

30 分

文字を使った式

これは、6年生の教科書にはない内容です。学校で習ったときに、取り組みましょう。

確にん問題1

1冊^{さつ}120円のノートを□冊買いました。このとき、次の問いに答えなさい。

(1) 代金を求める式を、□を使って表しなさい。

$$(\quad)$$

(2) (1)の式の□を x におきかえて、代金を求める式を、 x を使って表しなさい。

$$(\quad)$$

→ 答えは「答えと考え方」の10ページ

理解できているかな1

文字を使った式

ここが大切

いろいろに変わる数や量のかわりに、
文字 a や x などを使って式に表すこと
がある。



□や○を使って式に
表したのと同じだね。

(例) 1本70円のえんぴつ x 本の代金を求める式を、 x を使って表しなさい。

代金を求める式を、ことばの式で表すと、

えんぴつ1本のねだん(円) × 本数(本)

↓
70

↓
 x

よって、代金を求める式は、

$70 \times x$



まず、
ことばの式を
たてて考えよう。

 確にん問題2 

1本 a 円のえんぴつを6本と100円のノートを1冊買いました。このとき、次の問い合わせに答えなさい。

(1) 代金を求める式を、 a を使って表しなさい。

()

(2) えんぴつ1本のねだんが60円のとき、(1)の式を使って代金を求めなさい。

()

➡ 答えは「答えと考え方」の10ページ

理解できているかな？

全部の数や量

ここが大切

文字を使った式で、全部の数や量を表したとき、文字に数をあてはめると、そのときの全部の数や量を計算することができる。

(例) 1個 x 円のケーキ4個を50円の箱につめてもらったときの代金を求める式を、 x を使って表しなさい。また、ケーキ1個のねだんが150円のときの代金はいくらですか。

代金を求める式をことばの式で表すと、

$$\begin{array}{ccc} \text{ケーキ4個のねだん (円)} & + & \text{箱のねだん (円)} \\ \downarrow & & \downarrow \\ x \times 4 & + & 50 \end{array}$$

よって、代金を求める式は、

$$x \times 4 + 50$$

この式の x に150をあてはめると、

$$150 \times 4 + 50 = 600 + 50 = 650$$

したがって、ケーキ1個のねだんが150円のとき、代金は650円となります。



x にケーキ1個のねだんをあてはめれば、代金は求められるね。